

写真・文 山田哲也

3

宝塚大劇場ステージスタジオ

昨年、90周年を迎えた宝塚歌劇は「風と共に去りぬ」や「ベルサイユのばら」「エリザベット」など数々のヒット作を生んできた。そんな名作のステージ衣装を着て、あこがれのスターに变身できるのが、宝塚大劇場(宝塚市栄町)の「ステージスタジオ」だ。

「本物のタカラジェンヌに近づきたい」。こんな要望を受け、

今年から「舞台メークサービス」を始めた。宝塚OGの指導を受けたスタッフで、舞台で実際に使う化粧品でステージと同じメークをするのが「売り」。約1

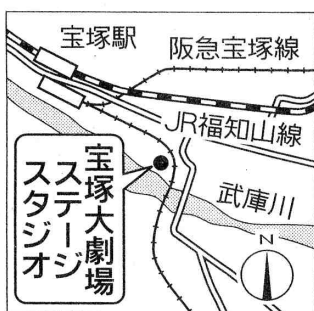
時間かけてドーラン、ほお紅を塗り、水化粧で肌の色を整える。アイラインを入れ、まゆ毛と長いまつげを付け、口紅を引けば完成だ。

衣装は男役が11種類、娘役は17種類からファンが選べるが、「お姫様のようなドレスを着て

みたい」という女性が多く、7割が娘役に変身する。特に、「ベルサイユのばら」のマリー・アントワネットや「エリザベット」、「風と共に去りぬ」のスカレット・オハラドレスは人気が高い。

舞台メークサービスは毎月1日から当月と翌月の予約を受け付けるが、初日で約6割が埋まるといふ。

料金はメーク、着付け、撮影、A5プリント1枚のセットで1万1000円から。問い合わせは同スタジオ(0797・85・6758)。



タカラジェンヌに变身!



写真左は「エリザベット」のドレス。右は「ベルばら」のマリー・アントワネットの衣装。かつらやブーケ、扇子も用意している